

## IIC における資格の維持管理

新沼 祥子 \*  
Shoko Niinuma

IIC では品質方針に「技術に裏打ちされた一流の製品およびサービスを提供する」を掲げているが、その一環として資格取得を推進している。これまで IIC REVIEW において、第 26 号 (2001/10) で「IIC 資格取得の推進」、第 30 号 (2003/3) および第 32 号 (2004/10) で「IIC に於ける資格取得及び事業許認可の現状」について報告したが、前回の報告から 2 年を経過しているため、2006 年度上期末での状況を踏まえ、以下に資格分野別取得状況と非破壊検査関連資格、分析・計測関連

資格、および安全関連資格のそれぞれの資格の維持管理状況を紹介します。

図 1 に資格分野別取得状況を示す。資格総数は 2,317 件で、1 人当たりの保有件数は 5.8 件と前回報告時 (6.8 件) より減少傾向にある。4 分野 (非破壊検査を除く技術、非破壊検査、安全、および事務/その他) の比率では非破壊検査関連が若干減少し非破壊検査を除く技術がやや伸びているが、全体としては資格取得の傾向に大きな変化がないと判断される。

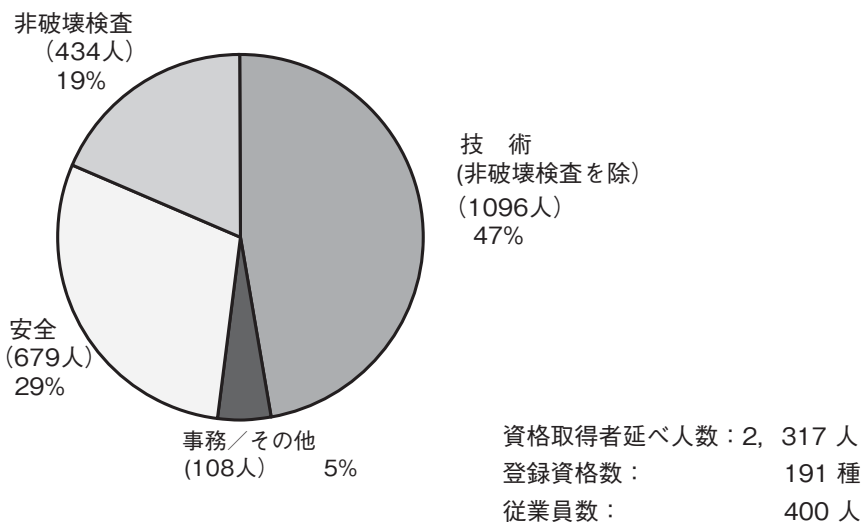


図1 資格分野別取得状況

\* 品質保証部

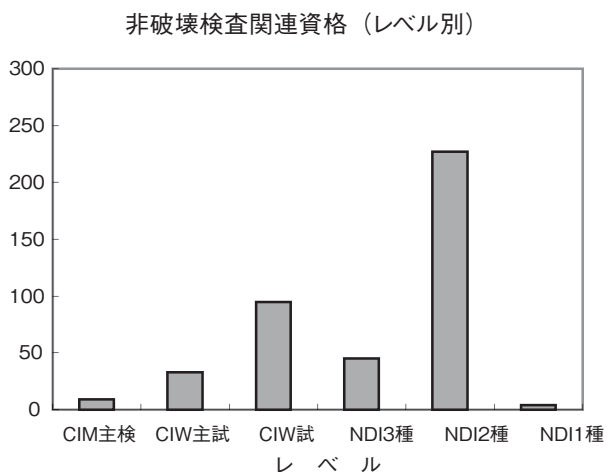
図2に非破壊検査関連の資格保有状況を示す。レベル別では、過去3回の報告時と同様に実際の業務を実施する上で最も必要とされるNDI2種の保有割合が群を抜いて多い。種目別では、これまでUT（超音波探傷試験）、RT（放射線探傷試験）、PT（浸透探傷試験）の順であったが、今回はRTとPTの順が逆転している。

非破壊検査関連資格に関しては、(社)日本非破壊検査協会が認定する「非破壊検査技術者技量認定資格」(JSNDI資格)がJIS Z 2305に基づく

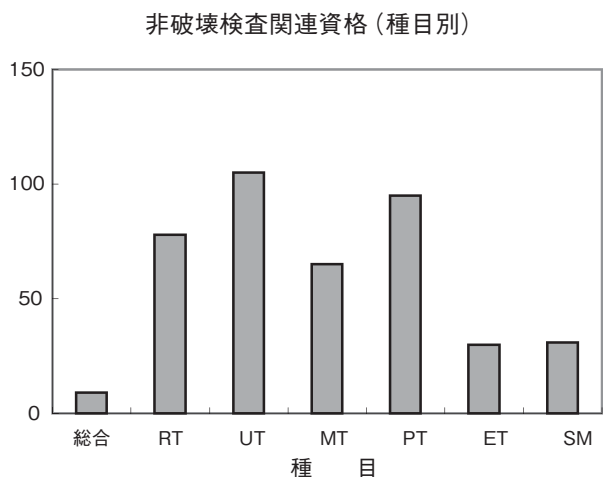
資格試験の制度に変更され、既に新制度による試験が実施されている。IICとしては全体の56%が新制度による資格に移行しており、2009/9/30資格有効期限までの更新時に順次移行させなければならない。また、(社)日本溶接協会が認定する「主任検査技術者」(CIW主検)及び「主任試験技術者」(CIW主試)の取得者数に基づき、この協会における非破壊検査会社のランク付けが行われており、現在IICは157社中14位である。

このJSNDI資格及びCIW資格の維持には、更

非破壊検査関連資格取得者数：434名



- CIW：(社)日本溶接協会が実施する検査事業者の認定制度
- 主検：主任検査技術者  
溶接構造物を総合的に非破壊検査ができる者
- 主試：主任試験技術者  
手順書に従い溶接部の非破壊検査ができる者
- 試：試験技術者  
主検または主試の指示に従い溶接部の非破壊検査のできる者
- NDI：(社)日本非破壊検査協会が実施する非破壊検査技術者の技量認定制度
- 3種：非破壊試験の手順書が作成でき、指示ができる者
- 2種：手順書に従って非破壊試験ができる者
- 1種：2種以上の非破壊試験技術者の監督の下で非破壊試験ができる者



- 統合：CIW主任検査技術者
- RT：放射線透過試験
- UT：超音波探傷試験
- MT：磁気探傷試験
- PT：浸透探傷試験
- ET：過流探傷試験（電磁誘導試験）
- SM：ひずみ測定

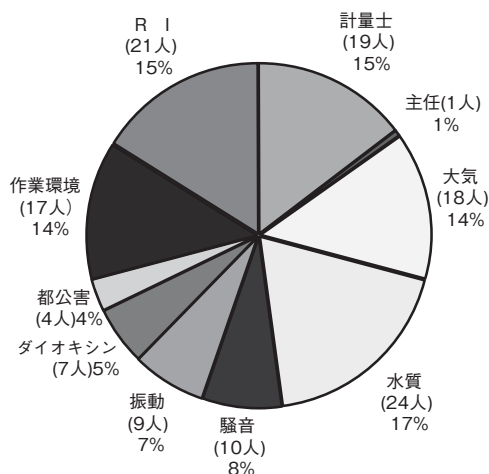
図2 非破壊検査関連資格

新試験があるため、品質保証部が事務局として更新対象者の書替・受験、上級資格の受験に関して案内およびサポートを実施している。

また、新しい資格としては(社)日本非破壊検査協会規格、NDIS0603：2005「超音波探傷システムの性能実証における技術者の資格および証書」が発行され、IICでは「オーステナイト系ステンレス鋼(ステンレス鋳鋼を除く)配管突合せ溶接継手き裂つ高さ(深さ)測定」の認証区分で、既に1名が資格取得をしている。

非破壊検査を除く技術については、分析計測関連について説明する。図3に分析・計測関連の主要資格取得状況を示す。検査関連の資格は検査を主業務としない職場であっても必要とすることが多く、そのために取得数も多いが、分析・計測関連の資格は、環境・公害関連を業務としている職場では取得するが、必要度が低い他の職場での取得数が少ないので全体の取得数が少なくなっている。

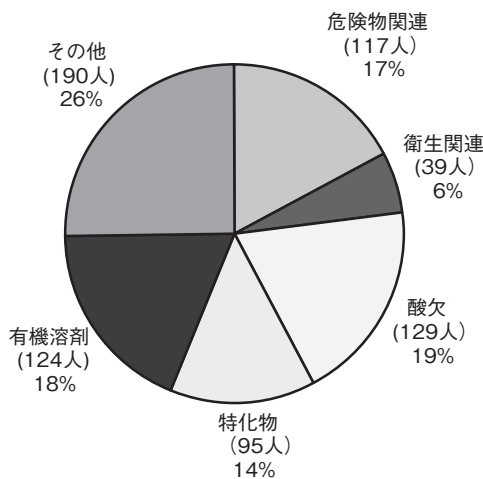
環境・公害関連以外の業務に関しては、業務遂



分析・計測関連主要資格取得者数：130件

- 計 量 士 : 一般及び環境計量士
- 主 任 : 公害防止主任管理者
- 大 気 : 大気関係公害防止管理者
- 水 質 : 水質関係公害防止管理者
- 騒 音 : 騒音関係公害防止管理者
- ダイオキシン : ダイオキシン関係公害防止管理者
- 都 公 害 : 東京都公害防止管理者
- 作業環境 : 作業環境測定士
- R I : 放射線取扱主任者

図3 分析・計測関連主要資格



安全関連資格取得者数：679件

- 危 険 物 : 危険物取扱者(甲・乙・丙種)
- 衛生関連 : 衛生管理者/衛生工学管理者
- 酸 欠 : 酸素欠乏危険作業主任者
- 特 化 物 : 特定化学物質作業主任者
- 有機溶剤 : 有機溶剤作業主任者
- そ の 他 : 足場の組立等作業主任者/  
高所作業特別安全教育、e t c .

図4 安全関連資格

行能力若しくは、設備取扱レベルを各部門で技量認定を行っている。取得資格合計は前回の報告時に対して1割増の増加であるが、これまで同様際だって多い資格は見られず分散している。

技術関連資格においては、IICの業容から品質管理に関する意識・能力・改善能力の重要性を考慮し、品質管理検定（QC検定）およびセミナーに関する情報を事務局から発信している。

図4に安全関連資格取得状況を示す。業務を遂行する上で最も基本となるのは安全であり、4分野の中でも取得者数が多い。

資格維持のために資格奨励金支給制度を実施し

ており、6段階の資格区分を設け、貢献度・必要性・難易度により評価し、奨励金を支給している。対象資格は必要に応じて見直しをしており、半年に一度の従業員の申請により資格取得状況を把握し、管理している。

なお、従業員の高齢化に伴う退職者の増加により、資格保有者の自然減少が顕著になってきている。このことを考慮して、各部門では代替わりにより技術の伝承および資格取得の推進を図っており、品質保証部としても内部品質監査の折などに、働きかけている。

---

品質保証部

新沼 祥子

TEL. 03-3778-7945

FAX. 03-3778-7951